



# 個人投資家向け会社説明会

2017年12月8日

九州旅客鉄道株式会社

(証券コード：9142)



KYUSHU RAILWAY COMPANY



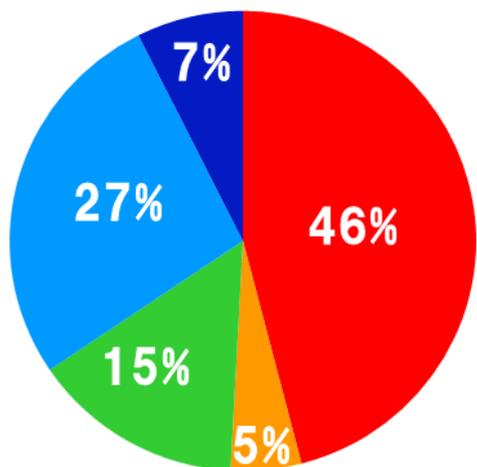
# 本日のご説明内容

1. 会社概要
2. 中期経営計画と今後の成長戦略
3. 株主還元

# 1. 会社概要

- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- **設立** 1987年4月1日
- **本社** 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
- **資本金** 160億円
- **従業員数** 8,978名（2017年4月1日）
- **事業年度** 毎年4月1日～翌年3月31日
- **発行済株式総数** 160,000,000株
- **上場市場名** 東京証券取引所（市場1部）、福岡証券取引所
- **銘柄コード** 9142
- **株主数** 123,976名（2017年9月30日）
- **発行体格付（R&I）** AA－（安定的）  
※格付信用度 AAA> **AA** >A>BBB>BB>B>CCC>CC>D
- **代表者名** 青柳 俊彦
- **子会社・関連会社** 子会社 40社（うち連結子会社36社）  
関連会社 4社（うち持分法適用関連会社1社）

# セグメント別売上構成比 (2017年9月30日現在)



## 運輸サービス

### ・鉄道事業



885系 かもめ ソニック



ななつ星 in 九州

### ・船舶事業



高速船ビートル

### ・バス事業



B&Sみやざき

## 建設

- ・建設業
- ・車両機械設備
- ・電気工事業 等



折尾駅高架化ホーム

## 駅ビル・不動産

- ・不動産賃貸業  
(商業施設、オフィス、マンション等)
- ・不動産販売業  
(分譲マンション)



六本松421  
(商業施設/分譲マンション等)

## 流通・外食

### ・小売業



### ・飲食業



### ・農業

## その他

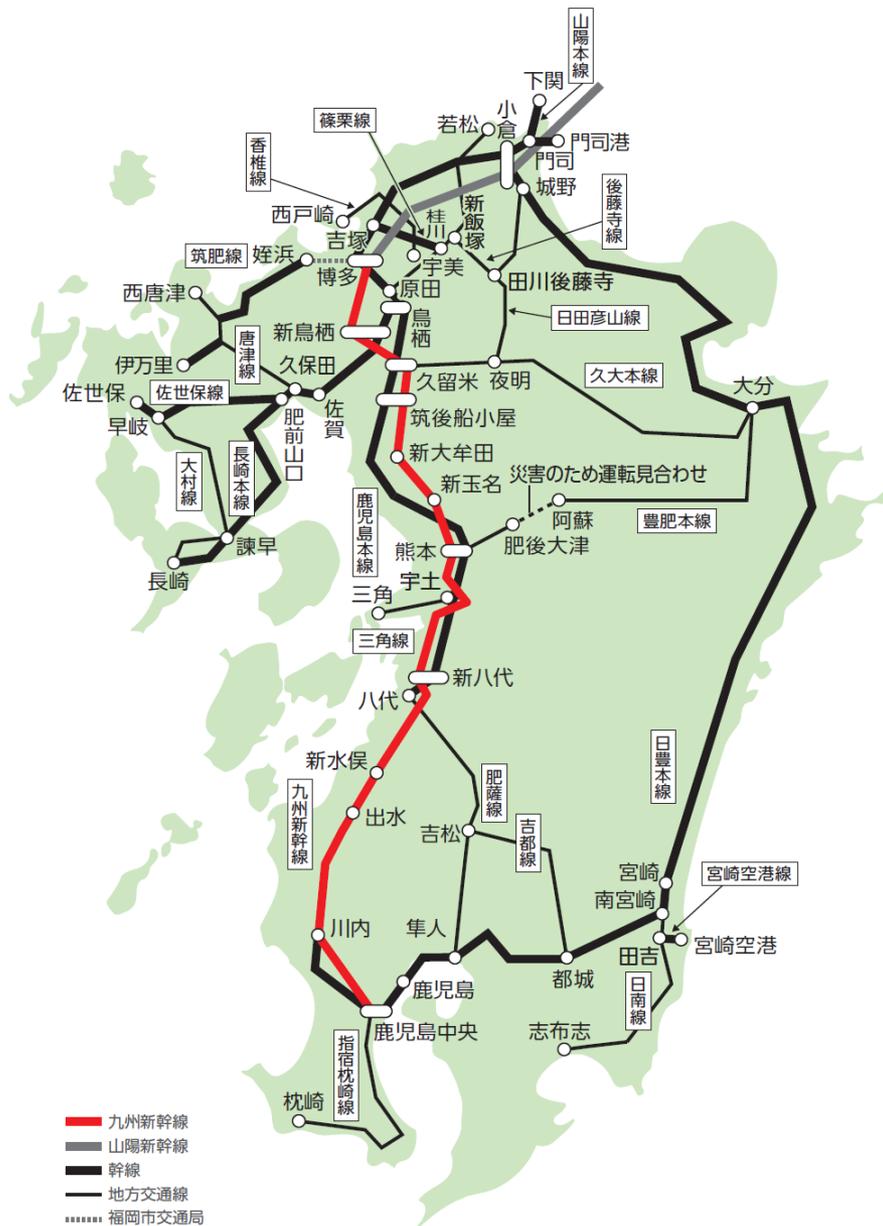
### ・ホテル業



JR九州ホテル  
ブラスサム那覇

- ・ゴルフ場経営
- ・複合観光施設の運営
- ・広告業
- ・物品賃貸業
- ・シニア事業 等

# 事業内容 (鉄道事業：路線概要)



## <在来線>



## <新幹線>



- 営業キロ……2273.0km (22線区)
- 駅数……567駅
- 車両数……1,667両
- 輸送人員……331百万人
- 輸送量……9,191百万人キロ

# 事業内容 (鉄道事業：D&S (デザイン&ストーリー) 列車)

## 特別なデザイン (Design) と、 運行する地域に由来する物語 (Story) を有する列車



特急「ゆふいんの森」  
1989年3月11日 運行開始  
運転区間：博多～由布院・別府\*



特急「A列車で行こう」  
2011年10月8日 運行開始  
運転区間：熊本～三角



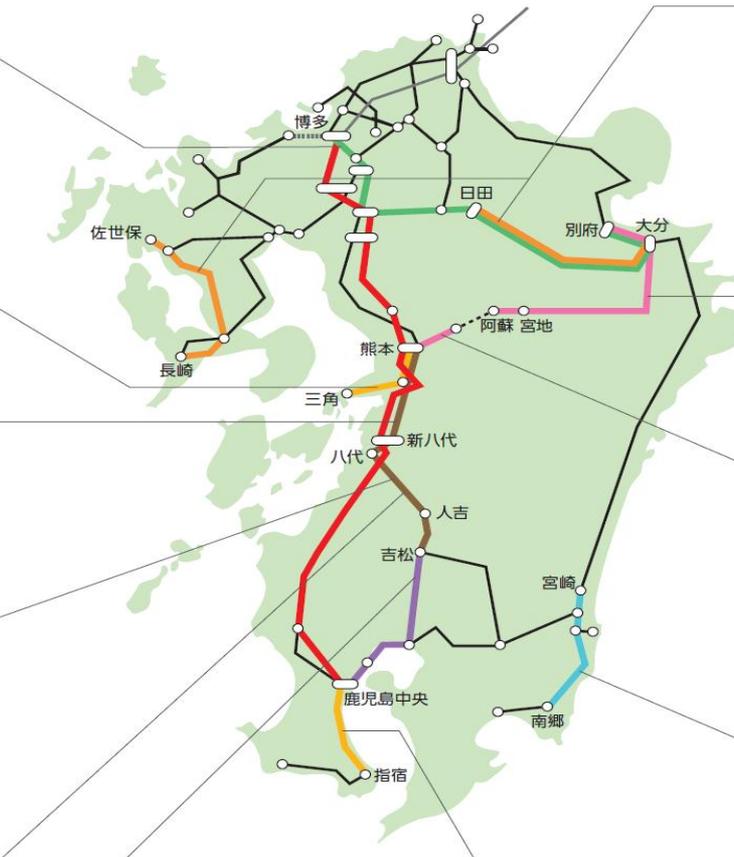
特急「SL人吉」  
2009年4月25日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉



特急「かわせみ やませみ」  
2017年3月4日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉



特急「いさぶろう・しんぺい」  
1996年3月16日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉～吉松



JRKYUSHU SWEET TRAIN  
「或る列車」  
2015年8月8日 運行開始  
運転区間：大分～日田/佐世保～長崎



特急「九州横断特急」  
2004年3月13日 運行開始  
運転区間：別府～熊本\*



特急「あそぼーい！」  
2011年6月4日 運行開始  
運転区間：熊本～宮地\*



特急「海幸山幸」  
2009年10月10日 運行開始  
運転区間：宮崎～南郷



特急「はやとの風」  
2004年3月13日 運行開始  
運転区間：鹿児島中央～吉松



特急「指宿のたまて箱」  
2011年3月13日 運行開始  
運転区間：鹿児島中央～指宿

\*災害に伴い運転区間・本数を変更して運行(2017年8月現在)

# 事業内容 (鉄道事業：11番目のD&S列車「かわせみ やませみ」)



## 特急かわせみ やませみ

KAWASEMI YAMASEMI  
2017.3.4 Debut!



雄大な山々と清澄な水辺を  
遊覧する野鳥のごとく、  
人吉球磨を感じる旅。

四方を深い山々に囲まれた人言盆地。その昔、船道を造るのも苦難を極めたという球磨川。人々の往来が厳しい時代にも、沿線を自由に旅したであろう野鳥の翡翠(かわせみ)と山翡翠(やませみ)から名付けられた列車です。

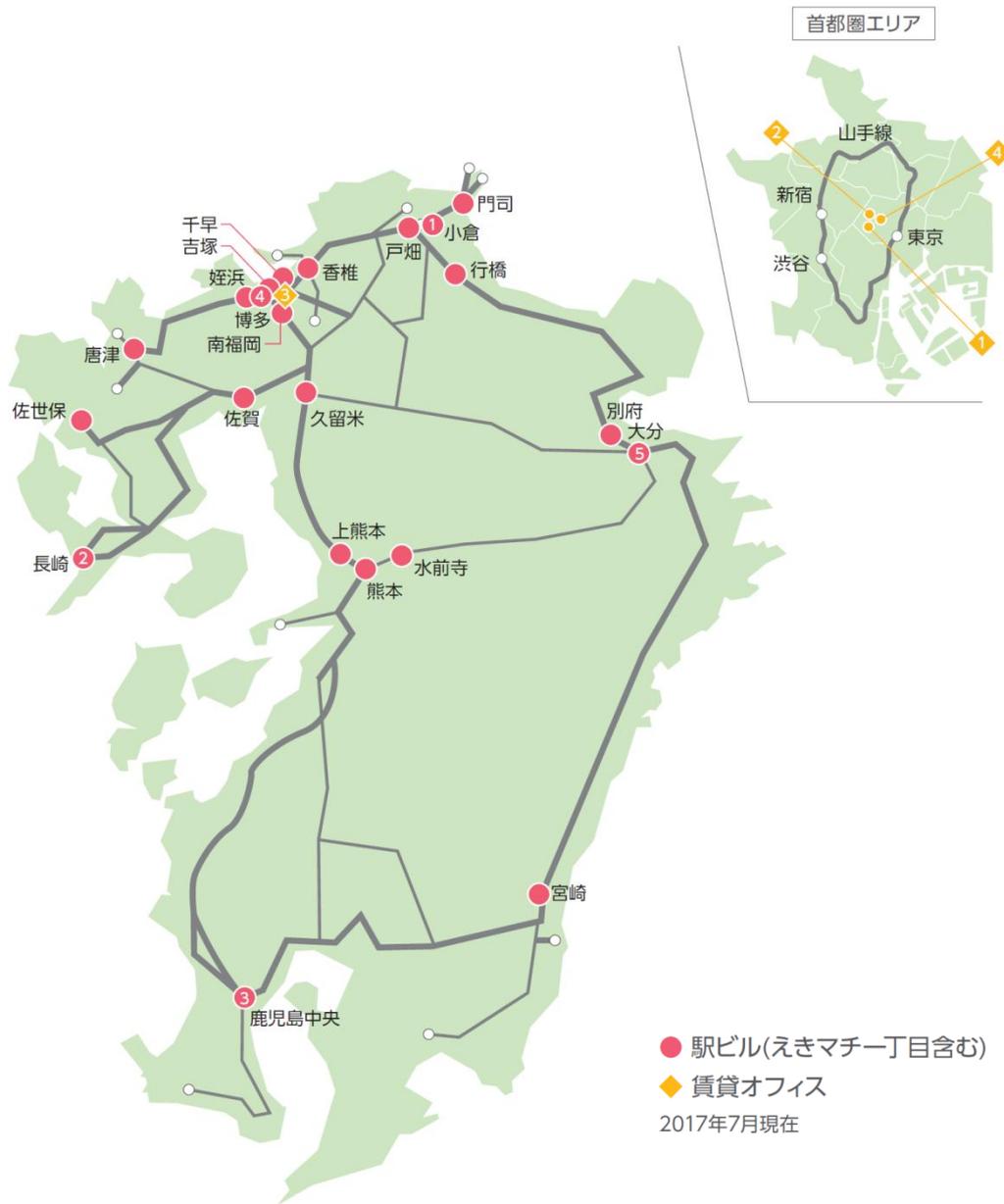
青色と緑色の列車だよ!



## 高い人気を誇る日本初の豪華クルーズトレイン 九州の認知度を高め、九州への旅行客増加に大きく貢献



# 事業内容 (非鉄道事業：駅ビル・賃貸オフィス)



首都圏エリア



## ■ 各駅ビルの概要

名称	開業日	延床面積 (m <sup>2</sup> )	入館者数(万人) 2017/3期	テナント売上高(億円) 2017/3期
1 アミュプラザ小倉	1998年3月14日	48,500	1,360	120
2 アミュプラザ長崎	2000年9月21日	58,500	1,169	208
3 アミュプラザ鹿児島	2004年9月17日	65,000	1,764	264
4 JR博多シティ・アミュプラザ博多	2011年3月 3日	240,000 <small>*博多駅舎含む</small>	7,055	1,061
5 JRおおいたシティ・アミュプラザ大分	2015年4月16日	154,000	2,221	223



■ JR博多シティ・アミュプラザ博多



■ JRおおいたシティ・アミュプラザ大分

## ■ 賃貸オフィスの概要

名称	取得年月	延床面積 (m <sup>2</sup> )
1 赤坂山王センタービル	2011年3月	5,000
2 二番町センタービル	2014年3月	44,000
3 JRJP博多ビル	2016年4月	44,000
4 平河町センタービル	2016年9月	8,000



■ JRJP博多ビル



■ 平河町センタービル

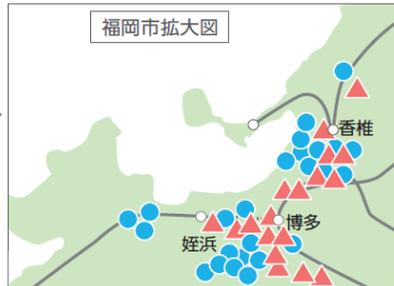
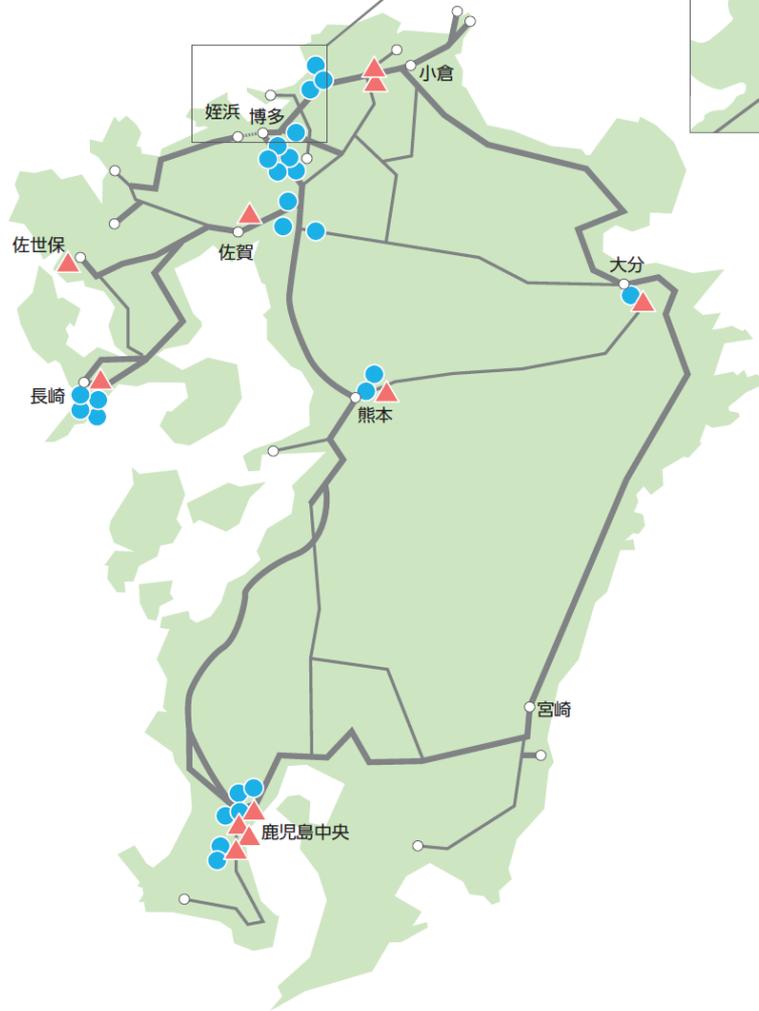
# 事業内容 (非鉄道事業：マンション)

▲ 賃貸マンション

● 分譲マンション\*

※50戸以上の物件を掲載(共同事業物件を含む)

2017年7月現在で引渡・開業済の物件を掲載

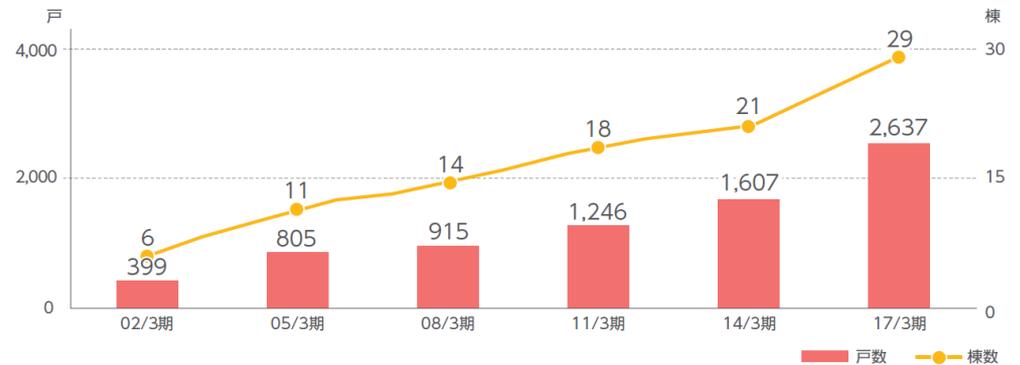


■ RJR プレシア博多

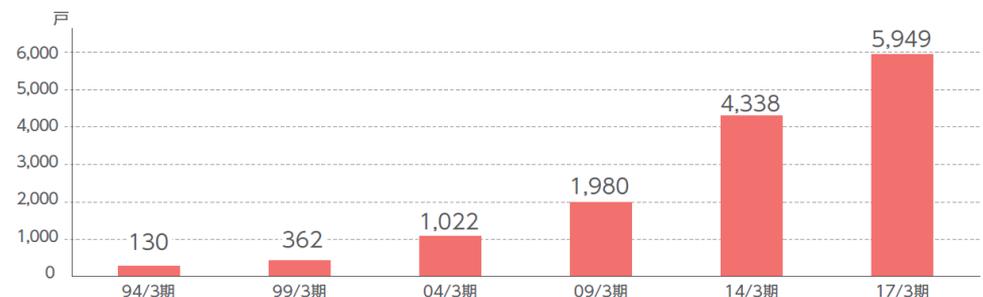


■ MJR 九大学研都市レジデンス

## ■ 賃貸マンション 竣工戸数及び棟数の推移 (累計)

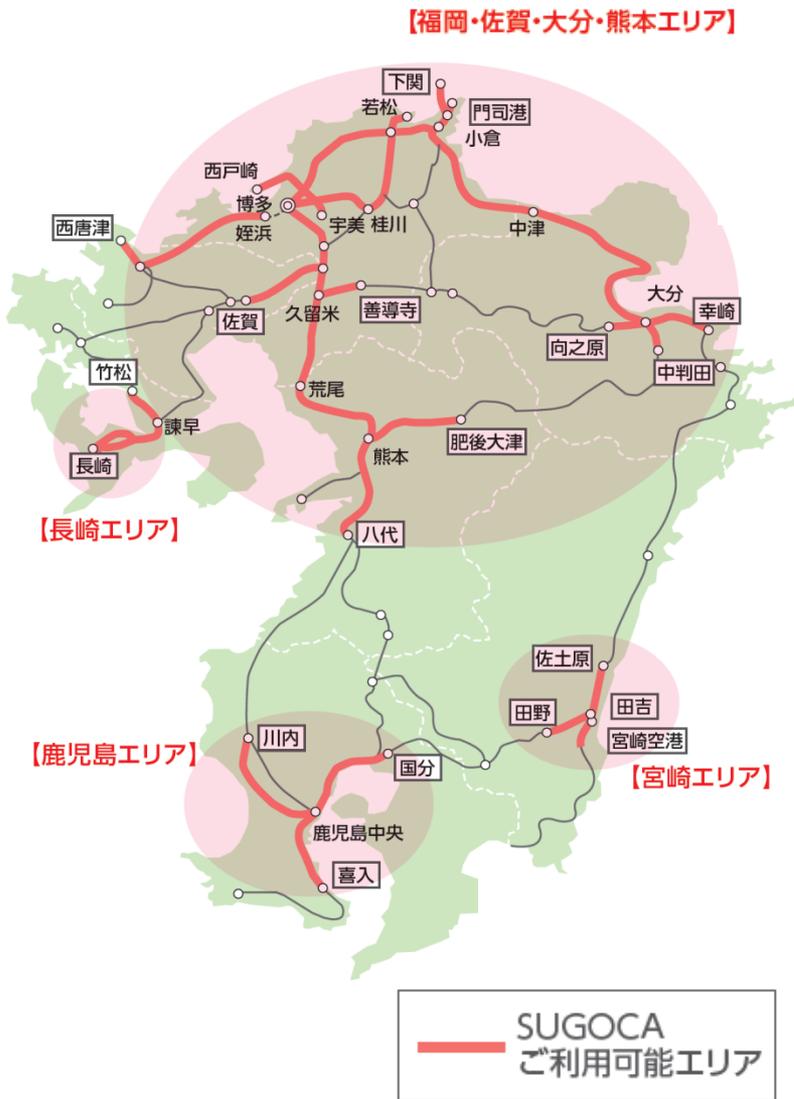


## ■ 分譲マンション 引渡戸数の推移 (累計)

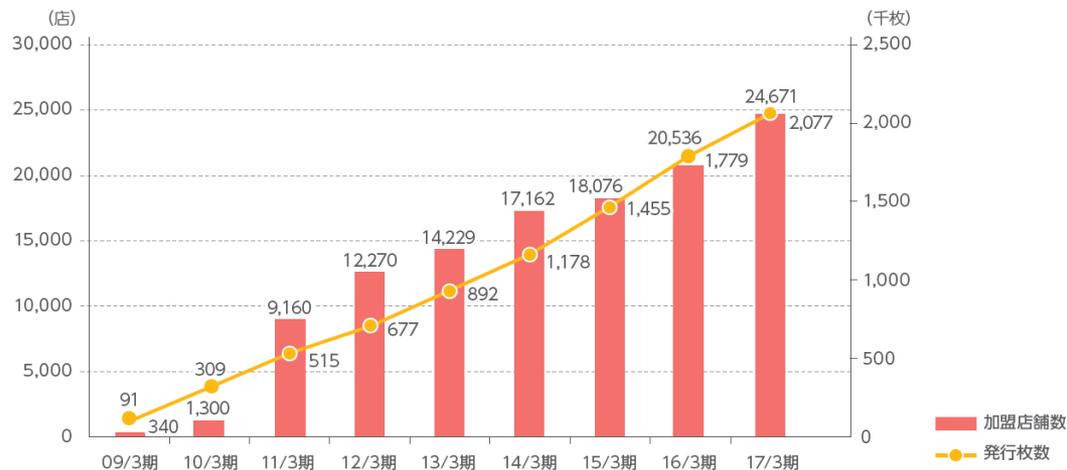




# 事業内容 (非鉄道事業：I Cカード)



## ■ 電子マネー加盟店舗数及びSUGOCA発行枚数の推移



## ■ 「JRキューポ」へのポイントプログラム統合



# 事業内容 (非鉄道事業：流通・外食)



■ドラッグイレブン (奥武山店)

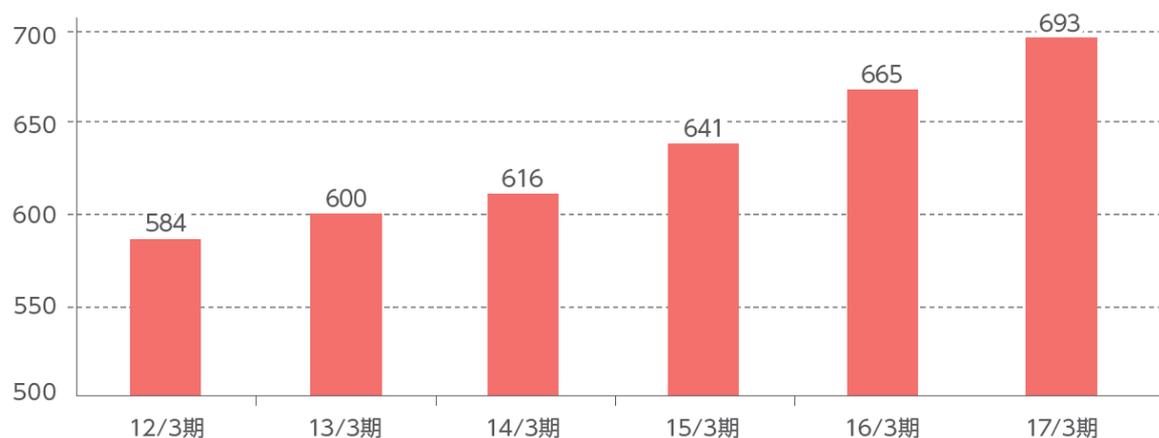


■ファミリーマート (六本松駅前店)



■トランドール (博多駅店)

## ■流通・外食セグメントの店舗数の推移



## ■農業への参入



■「うちのたまご」をはじめとする九州産の青果 (八百屋の九ちゃん)

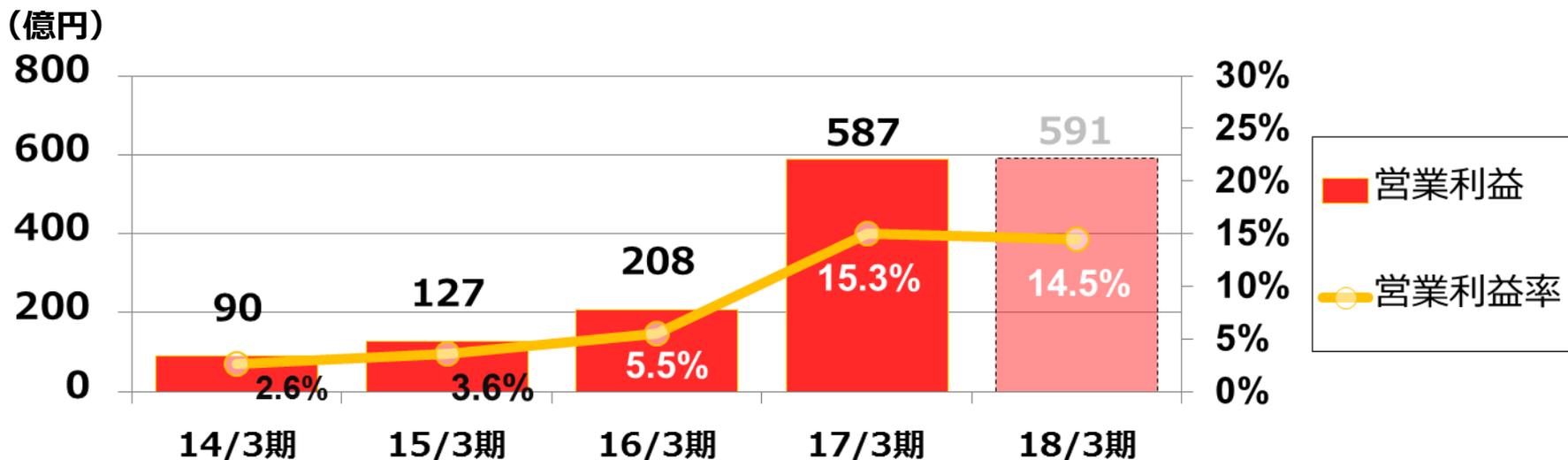




# 経営成績ハイライト(連結)

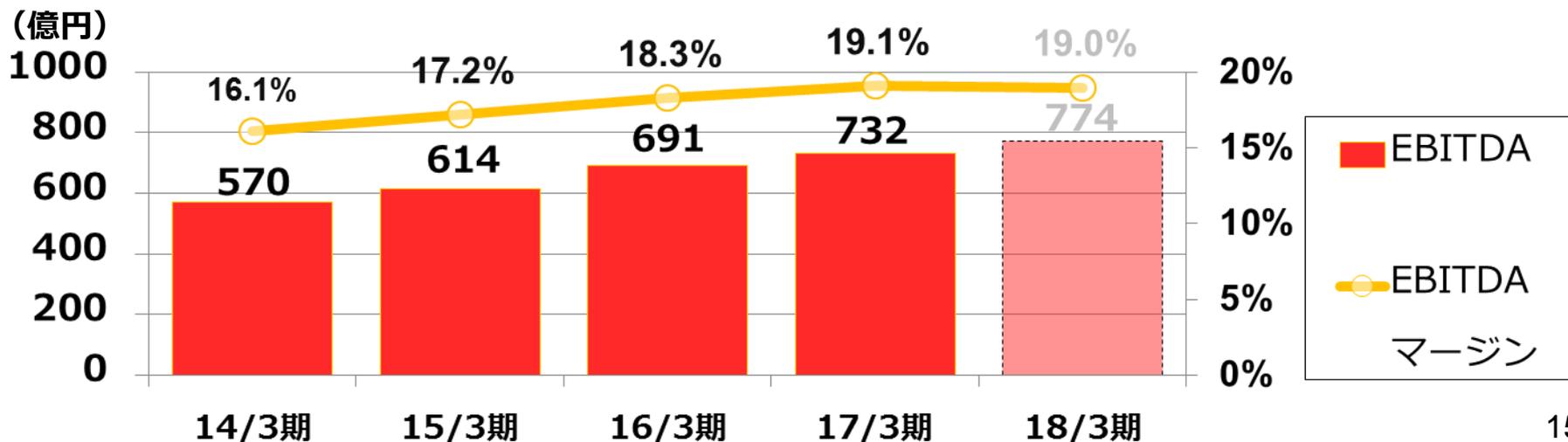
## 営業利益

18年3月期予想：562億円 ⇒ **591億円**に上方修正（前回予想+29億円）



## EBITDA

18年3月期予想：748億円 ⇒ **774億円**に上方修正（前回予想+26億円）



# 2018年3月期第2四半期 連結決算

## 連結損益計算書

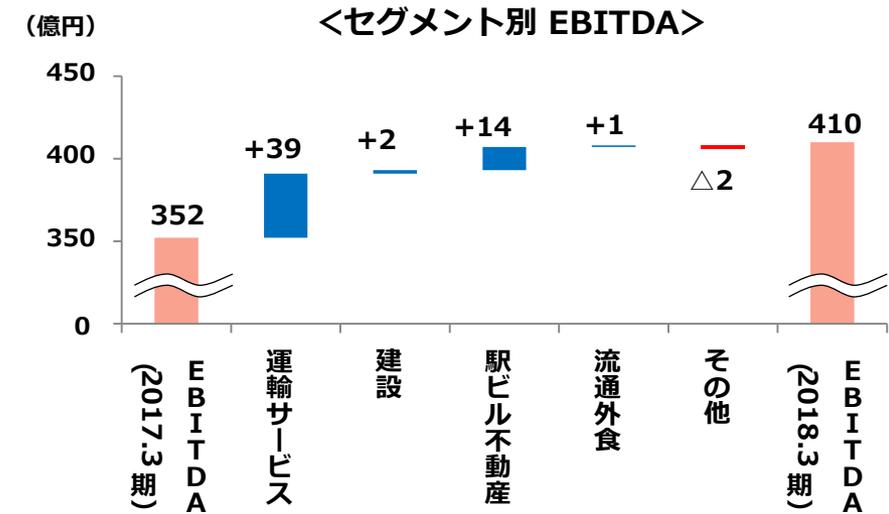
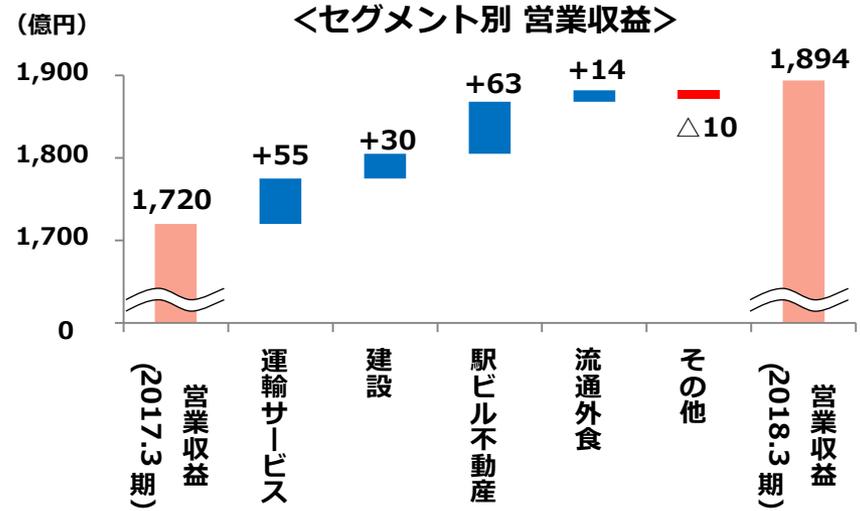
(単位：億円)	2017年 3月期 2Q実績 A	2018年 3月期 2Q実績 B	対前年		主な増減要因
			増減 B-A	比率 B/A	
営業収益 <b>増収</b>	1,720	1,894	173	110.1%	鉄道旅客運輸収入+41 マンション販売収入+51
営業費用	1,437	1,566	128	108.9%	マンション販売原価+43 減価償却費(JR九州)+12
営業利益 <b>増益</b>	283	327	44	115.8%	-
営業外損益	11	12	0	104.2%	-
経常利益 <b>増益</b>	294	339	45	115.4%	-
特別損益	△ 52	△ 49	3	-	熊本地震等に伴う災害経費の減+88 九州北部豪雨及び台風18号に伴う災害経費の増△48 金銭の信託売却益の減△30
親会社株主に帰属する 四半期純利益 <b>増益</b>	199	229	30	115.2%	-
EBITDA <b>増加</b>	352	410	57	116.4%	鉄道旅客運輸収入+41

※EBITDA=営業利益+減価償却費 以下、全て同様

# 2018年3月期第2四半期 連結決算

## セグメント情報【サマリー】

(単位：億円)	2017年 3月期 2Q実績 A	2018年 3月期 2Q実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率 B/A
営業収益	1,720	1,894	173	110.1%
運輸サービス	839	895	55	106.6%
建設	247	278	30	112.3%
駅ビル・不動産	246	309	63	125.6%
(うち不動産賃貸)	228	239	11	104.9%
流通・外食	500	515	14	102.9%
その他	290	280	△10	96.5%
EBITDA	352	410	57	116.4%
運輸サービス	164	203	39	123.9%
建設	8	10	2	127.2%
駅ビル・不動産	146	160	14	109.8%
(うち不動産賃貸)	149	153	4	103.2%
流通・外食	25	26	1	105.8%
その他	14	11	△2	83.7%



※各セグメントの増減値は、セグメント間取引消去前であり、連結全体の増減値とは一致しない

※各セグメントの数値は、セグメント間取引消去前

## 2. 中期経営計画と今後の成長戦略



# 中期経営計画2016-2018の位置付け

## やさしくて力持ちの

## “総合的なまちづくり企業グループ”を目指す

- 強靱な鉄道づくりやささまざまな事業によるまちづくりを積極的に推進し、九州における事業基盤をより強固なものとする。
- 今後の九州の元気づくりの核となる熊本駅や長崎駅の周辺開発に向けた準備を着実に進める。
- 日本、アジアの元気づくりに本格的に挑戦することを検討する。

### つくる2016

(2012-2016)

#### 株式上場の実現

上場会社に相応しい経営基盤を構築するとともに、上場のための諸条件の整備を図る

<2015年度 連結営業収益>  
3,779億円

### 中期経営計画 2016-2018

(2016-2018)

#### 総合的なまちづくり 企業グループ

地域の発展に貢献する長期持続的な事業活動を可能とする強固な経営基盤づくりをさらに加速させる

<2018年度 連結営業収益>  
4,000億円

### 将来

- 九州新幹線西九州ルート開業
- 熊本駅や長崎駅の周辺開発
- マチナカや都市部以外のまちづくりへのさらなる参画
- 九州外エリアでの事業確立

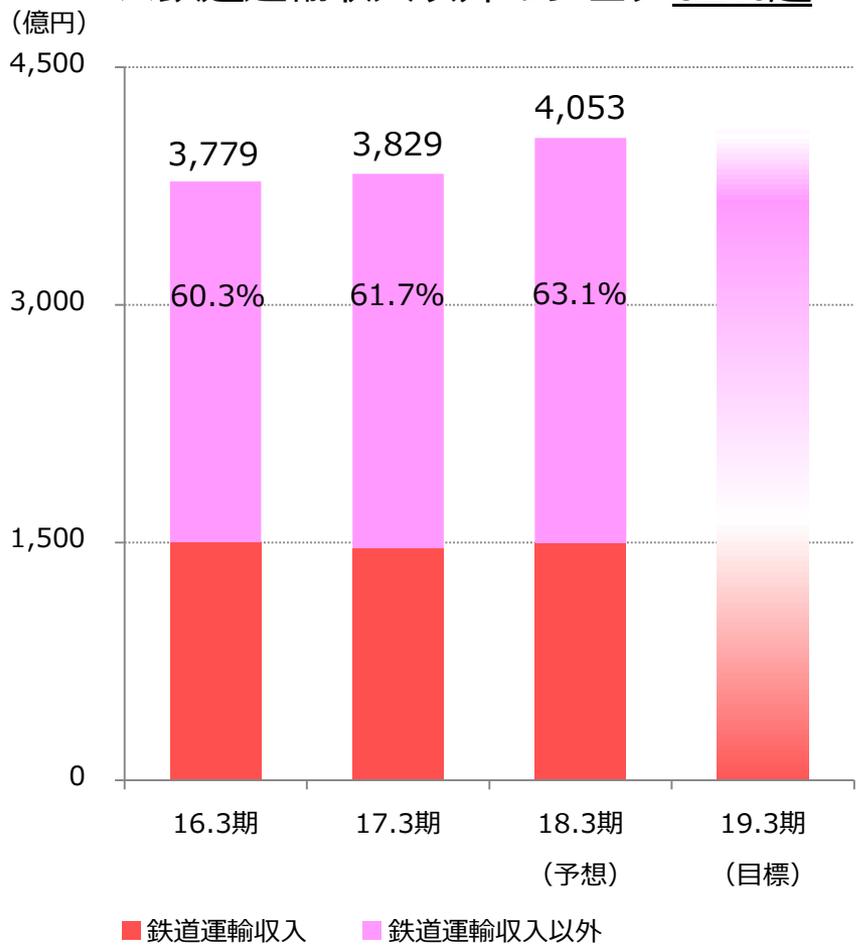
<10年後に目指す連結営業収益>  
5,000億円

# 中期経営計画に掲げる経営数値目標

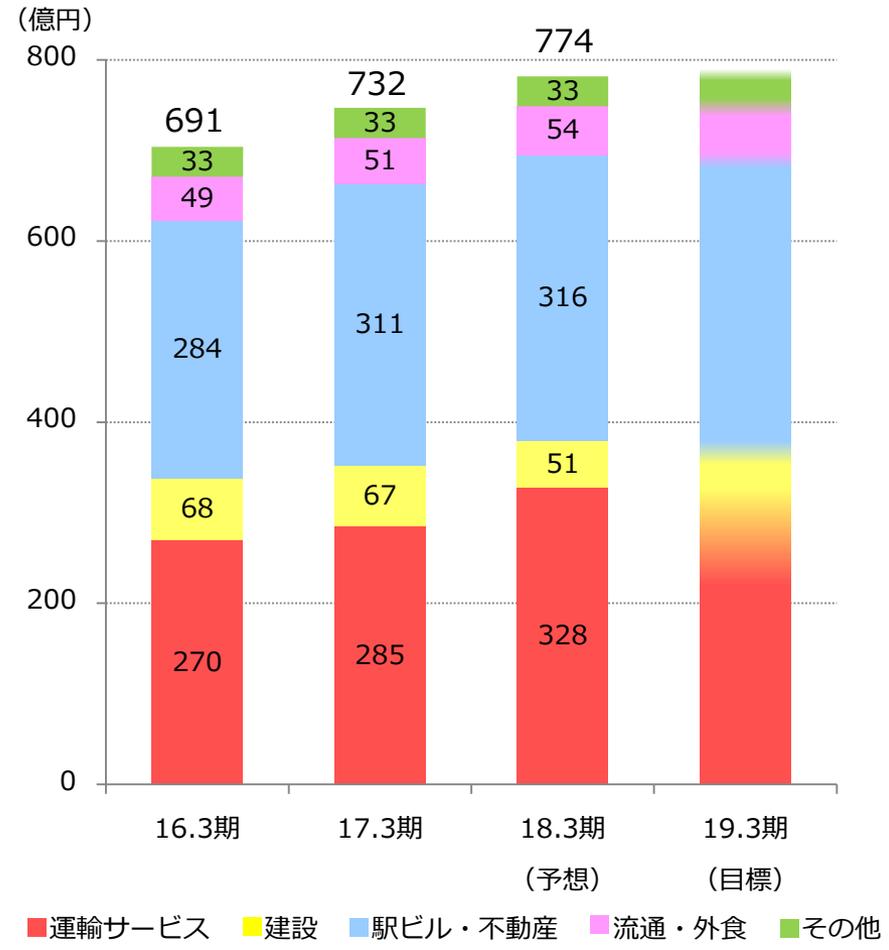
## 連結数値目標(2018年度)

<営業収益：4,000億円>

※鉄道運輸収入以外のシェア62%超



<EBITDA：780億円>



※ 2016.3期の運輸サービスセグメントのEBITDAは、経営安定基金運用収益（111億円）を含む  
 ※ 各セグメントのEBITDAは、セグメント間取引消去前であり、連結EBITDAとは一致しない

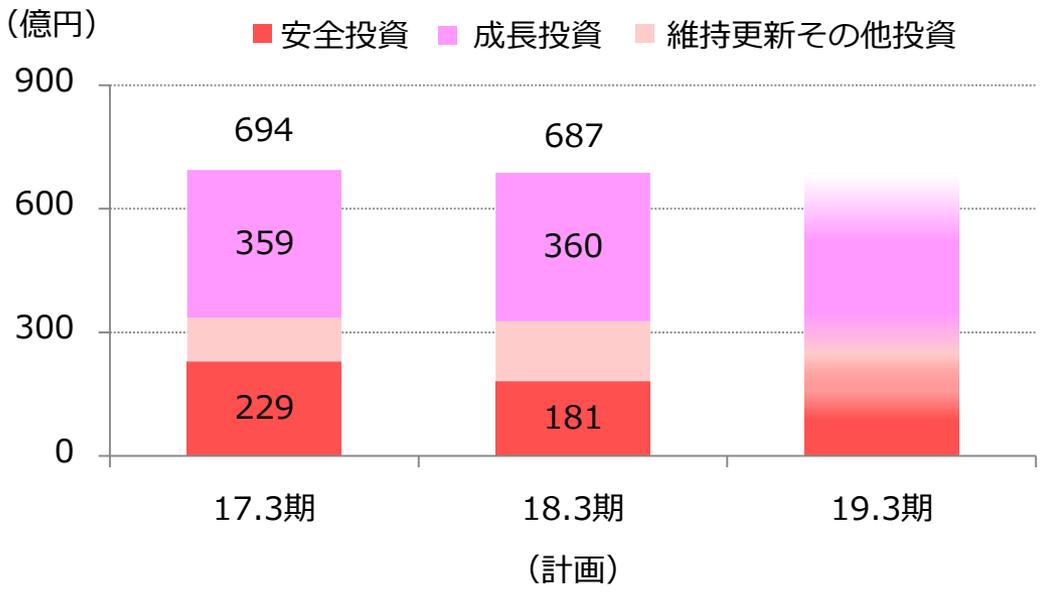
# 中期経営計画に掲げる経営数値目標

## <設備投資額 [参考]>

1,900億円 (2016~2018年度総額)

(主な内訳)

- 鉄道事業における 650億円  
安全投資
- 成長投資 800億円



## <中期経営計画期間の主な成長投資>



■ 六本松開発



■ JR九州ホテル ブラッサム那覇



■ 新橋一丁目ホテル計画

# 各事業における取組み・今後の成長戦略

- 鉄道事業により構築された「安心と信頼」「集客力」を活かした多角的な事業展開
- まちづくりが鉄道事業における乗車人員及び近距離輸送の増加に貢献

<福岡の例>

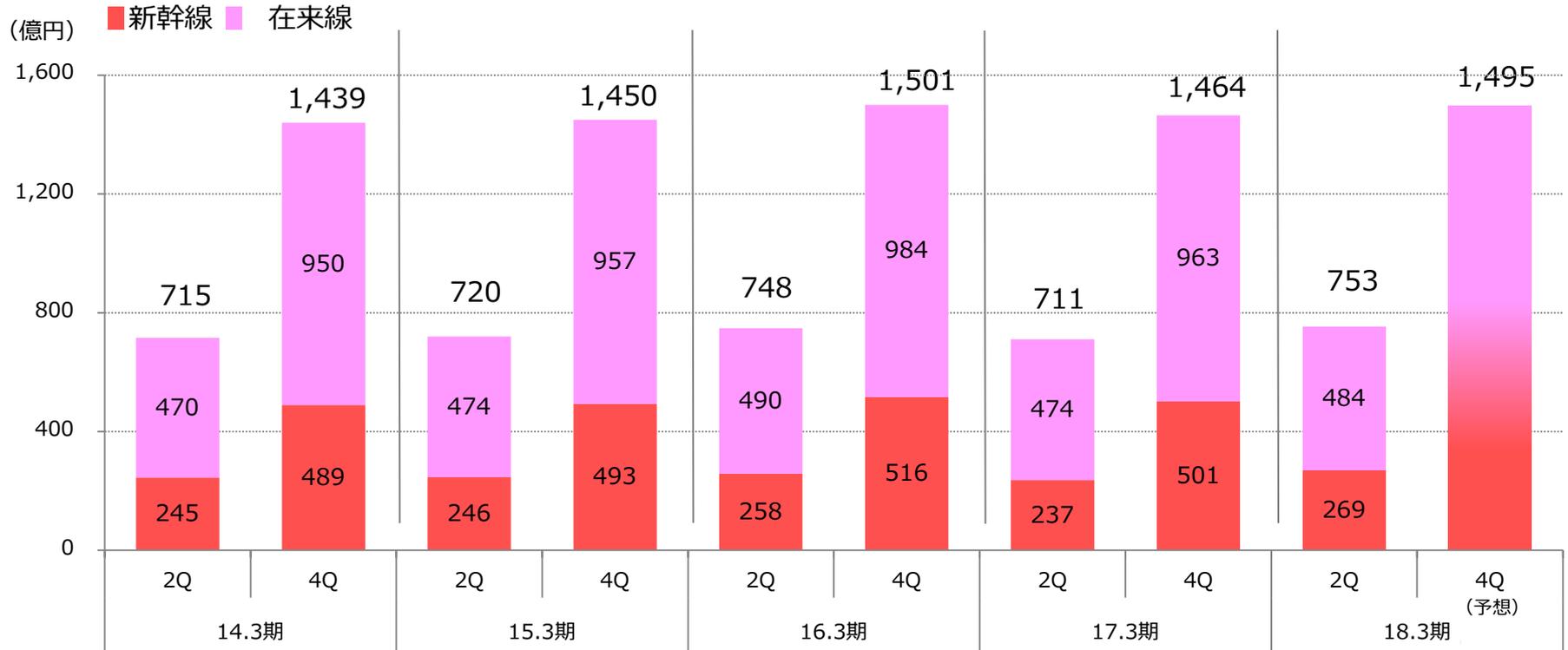


# 鉄道事業の取組み

## すべての事業の根幹である強靱な鉄道事業

- 鉄道運輸収入は安定的に推移
- 九州において安心と信頼という強固な「JR九州」ブランドを形成

＜鉄道旅客運輸収入＞



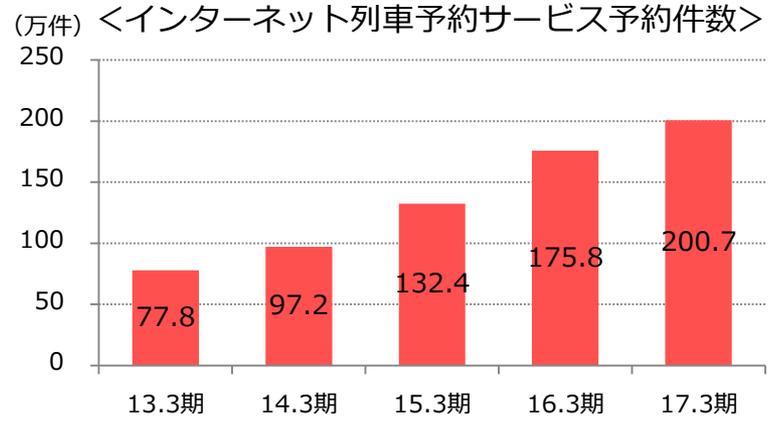
# 鉄道事業の取組み ～収益力の強化～

## ■ インターネット予約利用へのシフトを加速化

- ・ 2017年5月 コンビニエンスストア等での決済を導入
- ・ 2017年7月 「JRキューポ」へのポイントプログラム統合

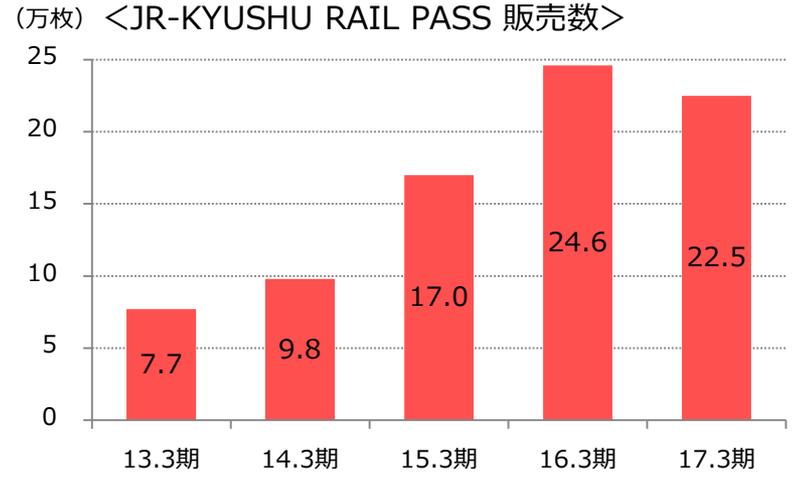
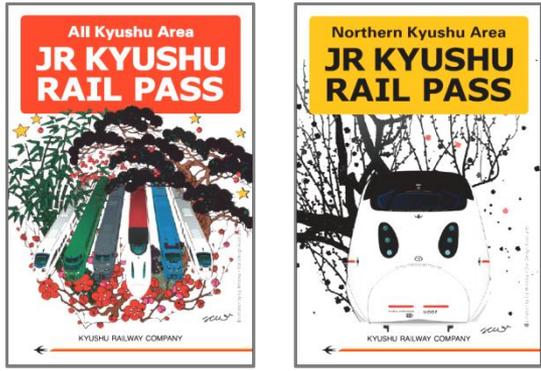


イールドマネジメントの促進による収益性向上



## ■ インバウンド需要の取り込み

- ・ JR-KYUSHU RAIL PASSの販売促進
- ・ 各々の国、地域に適した情報発信

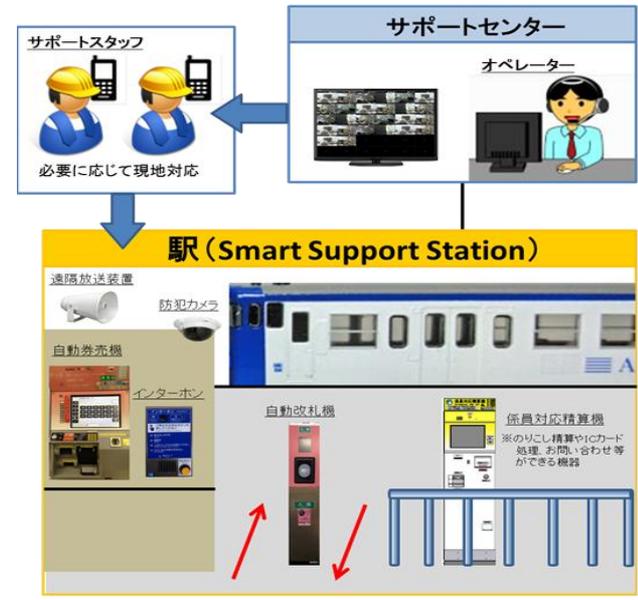


# 鉄道事業の取組み ～効率的な事業運営の追求～

## ■ 「Smart Support Station」の拡大

### 【概要】

- ・各駅にカメラ、インターフォン等を設置
- ・サポートセンターのオペレーターが遠隔で安全を見守り、インターフォンを通じてお客さまへご案内をするサービス



### 【導入時期】

- ・2015年3月 西戸崎駅～宇美駅間（香椎駅、長者原駅を除く）
- ・2017年3月 若松駅～新入駅間（折尾駅を除く）

## ■ 架線式蓄電池電車「DENCHA」の導入

### 【概要】

- ・ブレーキ時に発生する回生エネルギーを蓄電池に充電する効率的なエネルギー利用
- ・客室内へのLED照明や省エネタイプの空気調和装置、スマートドアなどの省エネルギー仕様の採用

### 【導入時期】

- ・2016年10月 若松駅～折尾駅間

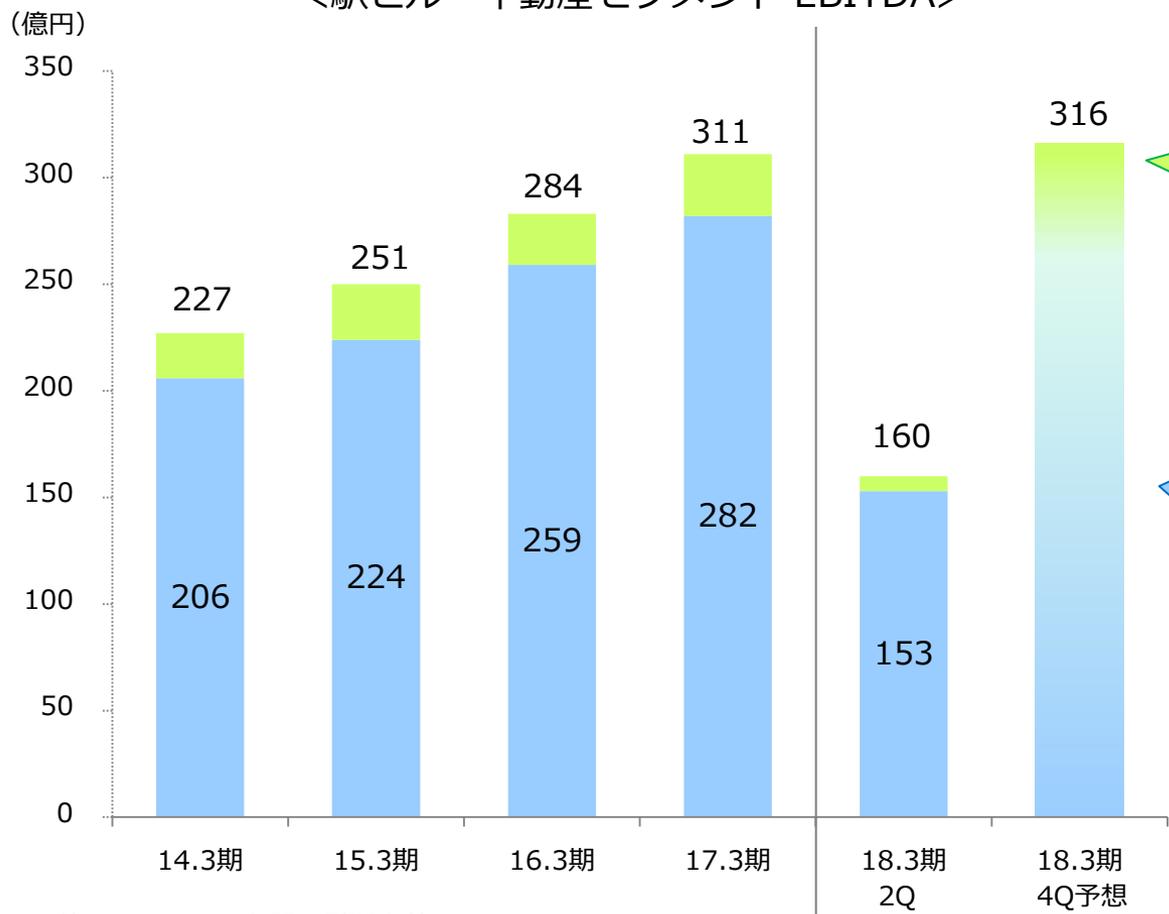


2017年ブルーリボン賞受賞

# 駅ビル・不動産事業の取組み

- 賃貸と分譲の2つの事業で構成、連結EBITDAの約40%を占める重要な事業
- 九州を中心に駅ビル等の商業施設、オフィス、マンションを中心とした事業展開
- 賃貸のEBITDAがセグメント全体の約90%を占める

＜駅ビル・不動産セグメント EBITDA＞



分譲

＜分譲マンション＞



賃貸

＜駅ビル・オフィス＞



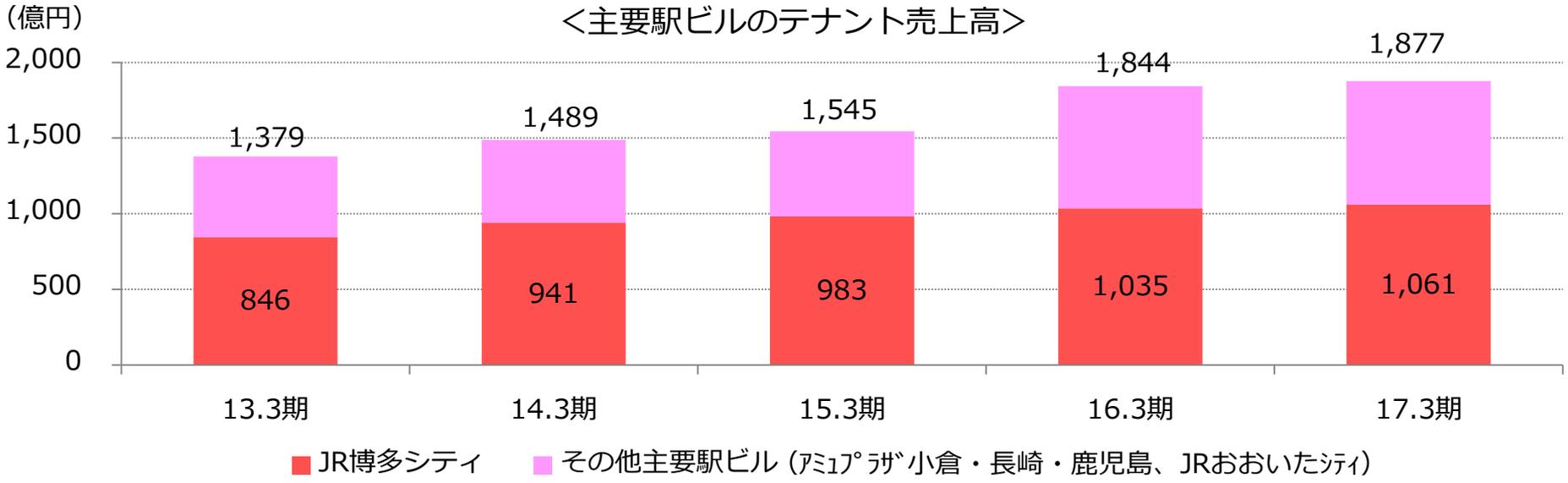
＜賃貸マンション＞



※ 数値はセグメント間取引消去前

# 駅ビル・不動産事業の取組み ～駅ビル事業～

- 地域に根ざし、駅ビルを核とした魅力的でにぎわいの溢れるまちづくりを推進
- 鉄道事業との相乗効果を最大化し、駅と駅ビルの価値向上を目指す



アミュプラザ小倉



アミュプラザ長崎



アミュプラザ鹿児島



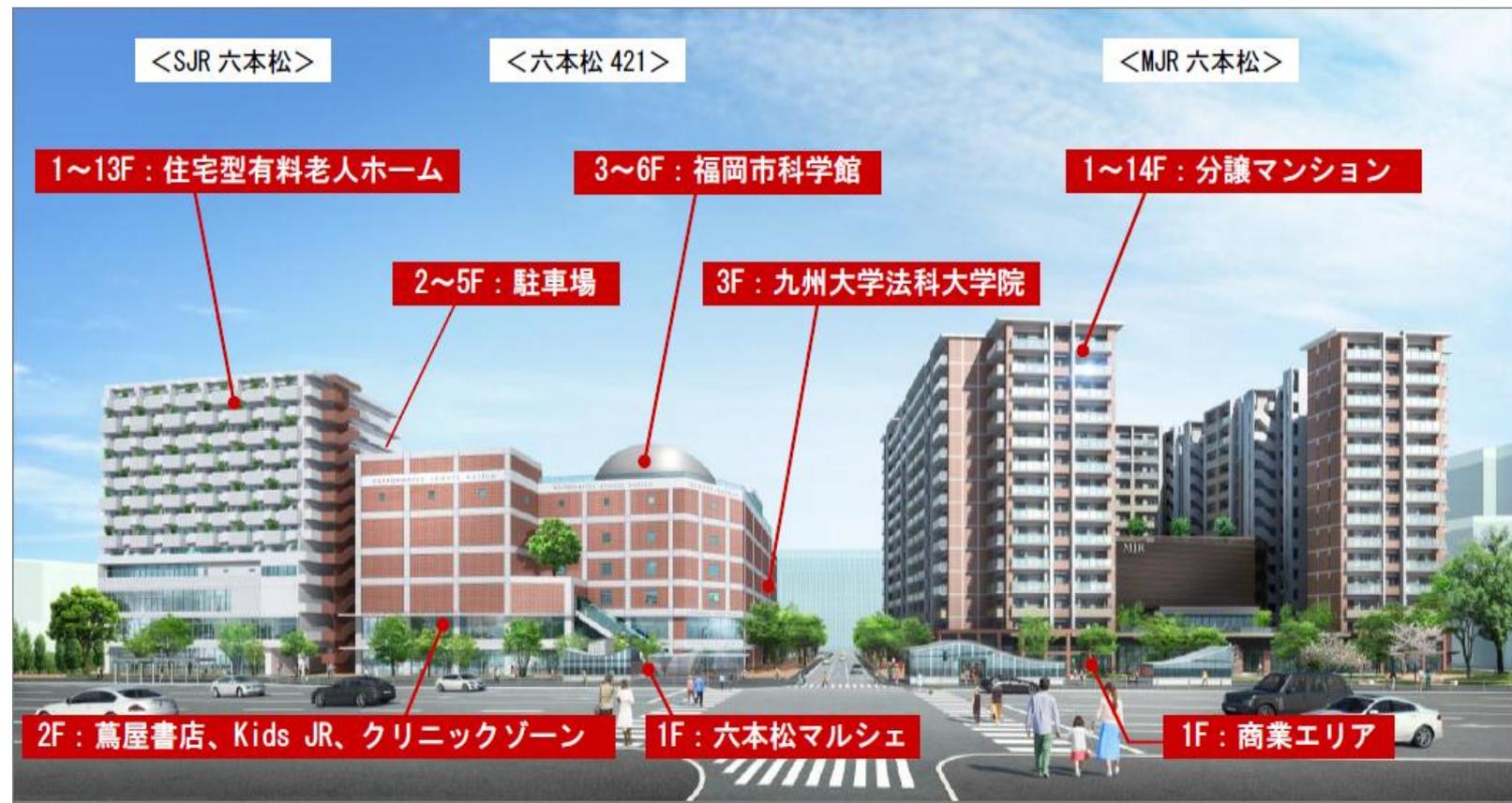
JR博多シティ  
アミュプラザ博多



JRおおいたシティ  
アミュプラザ大分

# 駅ビル・不動産事業の取組み ～六本松421開業～

- 当社沿線から離れた市中において、九州大学キャンパス跡地を取得し「まちづくり」を推進

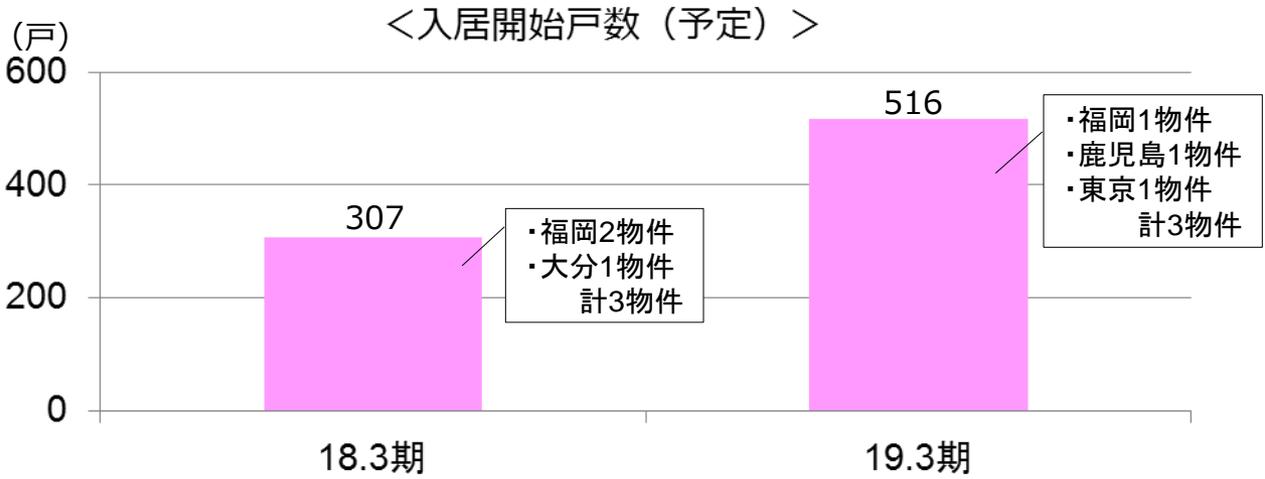


<主なテナント>



# 駅ビル・不動産事業の取組み ～マンション事業～

## ■賃貸マンション 新規開発の推進による安定収益の確保



＜東十条マンション取得＞

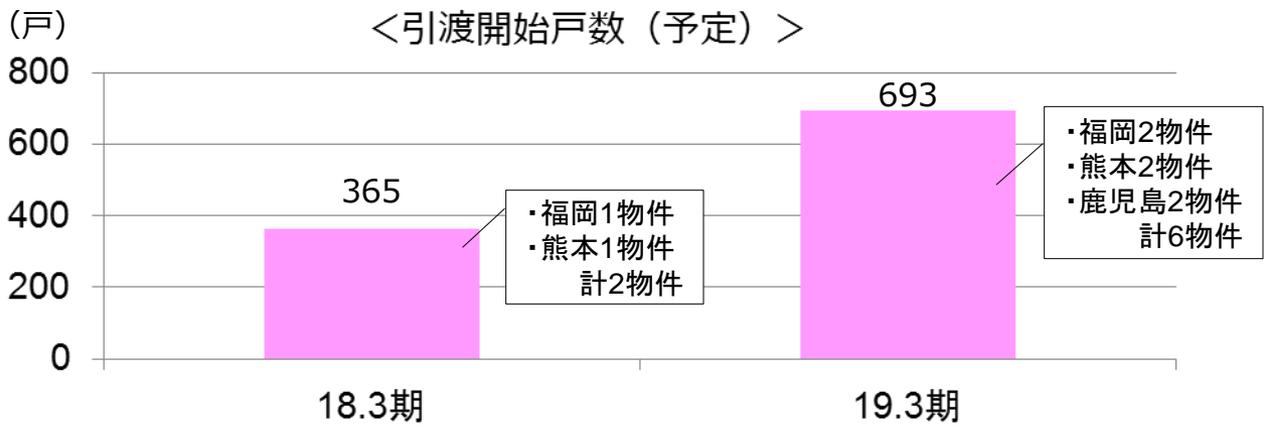


東京都北区東十条（東十条駅 徒歩4分）  
総戸数：182戸

## ■分譲マンション 積極的な事業展開とさらなるシェア拡大

### ★マンション販売戸数2年連続九州地区第1位

※2015,2016年版 九州・山口7県マンション市場動向とその方向」住宅流通新報社調べ



＜2018.3期 引渡開始物件＞



①MJR赤坂タワー（福岡市中央区）  
総戸数：172戸



②MJRザ・ガーデン大江（熊本市中央区）  
総戸数：193戸

※計画は、今後変更になる場合があります。

# 九州外エリアへの挑戦 ～更なる成長の追求～

- 流通・外食事業、ホテル事業、マンション事業、建設業などさまざまな事業において日本全国、そしてアジアのマーケットを目指した事業の拡大を推進する

## ■ JR九州ホテル ブラッサム那覇開業



沖縄県那覇市牧志

## ■ タイにおける現地法人の設立



## ■ ドラッグイレブン 東京初出店



東京都中央区京橋

### <新会社の概要>

名称	タイJR九州キャピタルマネジメント株式会社
所在地	タイ王国バンコク都
事業内容	不動産開発事業等
資本金	125百万THB (1THB=3.2円の場合、約4億円)

# 主な開発パイプライン

- 引き続き大規模開発を通じて収益力を強化
- 今後は駅周辺に限らず、「まちづくり」会社として積極的に市中にも展開
- 東京や沖縄等、九州外にも進出



※計画は、今後変更になる場合があります。

# 3. 株主還元

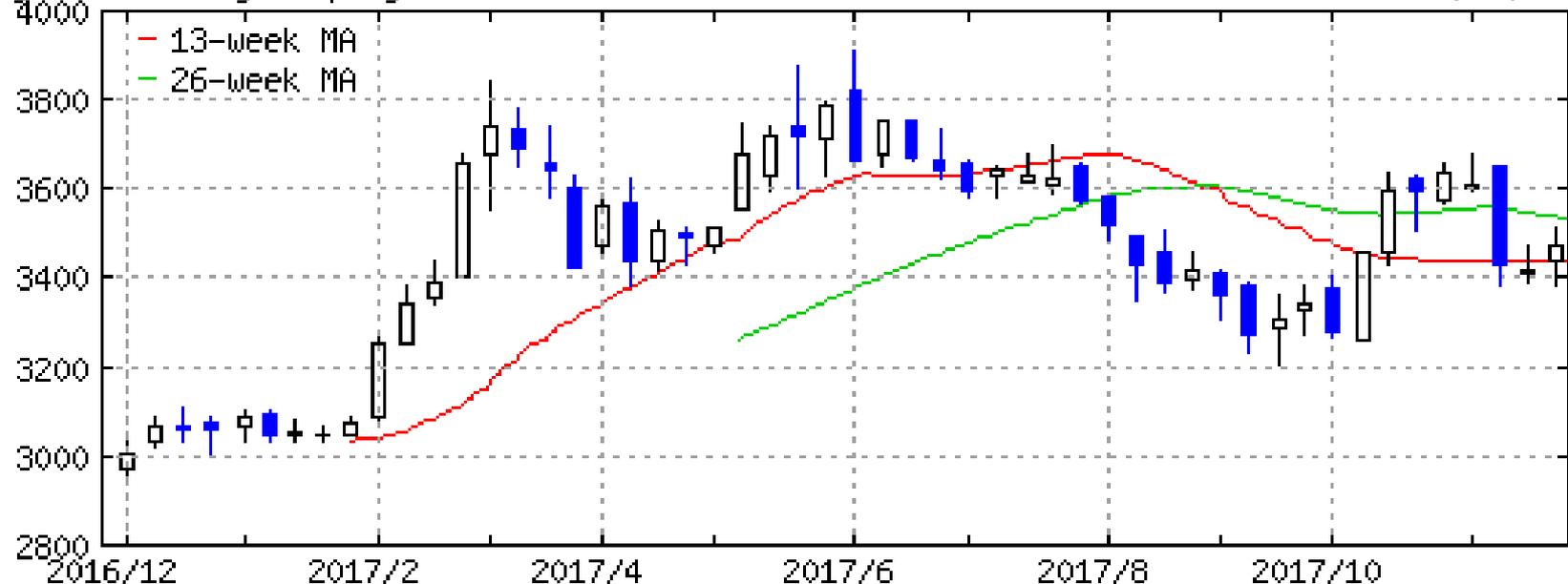


# 株価推移

売出し価格2,600円、初値3,100円から堅調な推移

■ 時価総額	5,504億円 (12/1)	■ 株価	3,440円 (12/1)
■ 発行済株式総数	160,000,000株	■ 1株配当	年間78円 (予定)
■ 単元株数	100株	■ 最低購入代金	344,000円 (12/1)
■ 決算期	3月末日		

Kyushu Railway Company





# 配当

## ・ 配当政策（2019年3月期までの期間）

連結配当性向**30%程度**を目安に

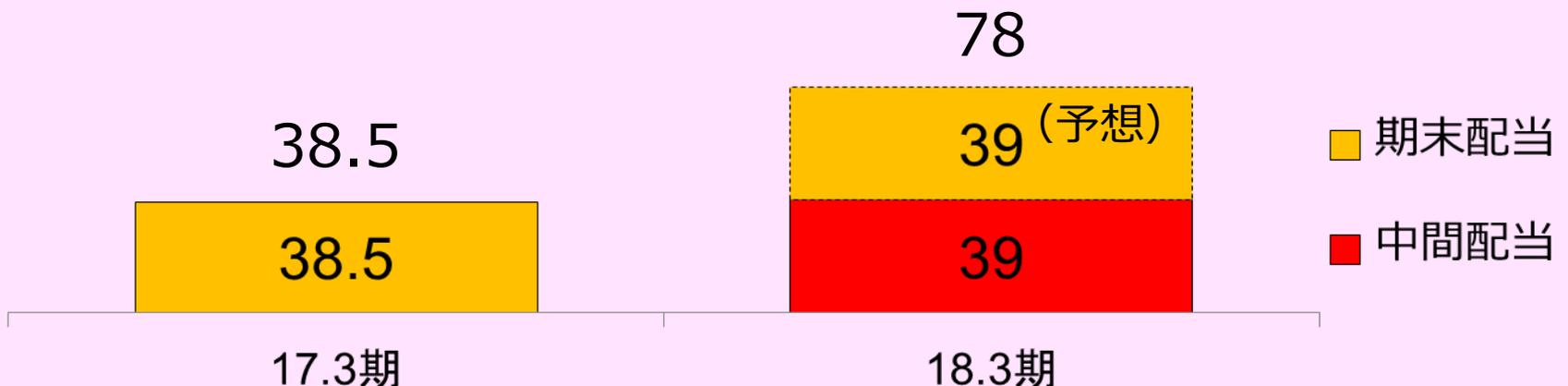
安定的な1株当たり配当を目指す

※2017年3月期の期末配当については、株式上場（2017年10月25日）から当該期末配当の基準日までの期間が6ヶ月未満であることを考慮し、連結配当性向15%程度を目安とした

## ・ 1株あたり年間配当額・配当性向

2018年3月期の1株当たり配当金は、**78円**の予定

【1株あたり配当金（単位：円）】





毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆さまに対し、2種類の株主優待券をお送りします  
(毎年5月下旬)

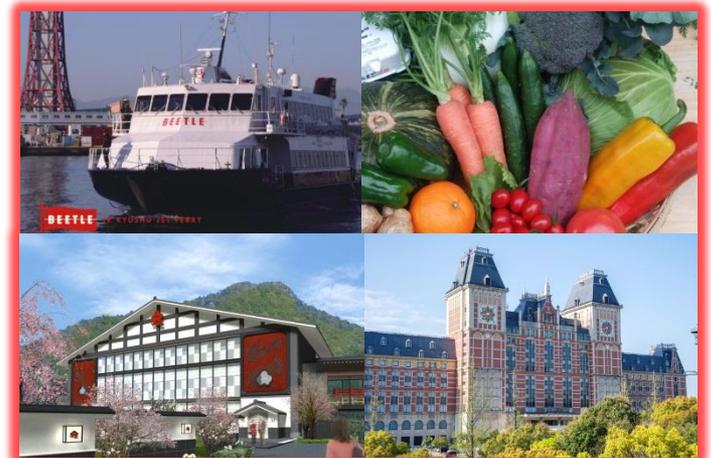
## ① 鉄道株主優待券

片道の運賃・料金が5割引



## ② JR九州グループ株主優待券

当社グループ会社  
6社の21施設が  
優待価格で利用可能





# 株主優待

## ① 鉄道株主優待券の概要



### ◎ ご優待内容

1枚につきお一人さま片道の運賃・料金を5割引

### ◎ 割引対象 (当社営業路線完結のきっぷ)

片道乗車券・特急券・グリーン券※・指定席券

※個室を除く

### ◎ 発行基準

所有株式数	発行枚数
100株～ 1,000株未満	100株ごとに1枚
1,000株～10,000株未満	10枚+ 1,000株超過分 200株ごとに1枚
10,000株～20,000株未満	55枚+ 10,000株超過分 300株ごとに1枚
20,000株以上	100枚

## ② JR九州グループ株主優待券の概要



### ◎ 発行基準

100株以上所有：一律 5 枚（共通券タイプ）

### ◎ 割引内容（JR九州のグループ会社 6 社・21施設が対象）

以下のいずれかの割引を利用することができます。



高速船ビートル福岡～釜山往復  
特別割引運賃10,000円



八百屋の九ちゃん  
お会計100円引



うちのたまごEGG&SWEETS  
お会計100円引



ステーションホテル小倉  
ご宿泊基本室料5割引



ホテルオークラJRハウステンボス  
ご宿泊基本室料5割引



JR九州ホテルズ  
ご宿泊基本室料3割引  
(休前日は2割引)



奥日田温泉うめひびき (旧:豊後・大山ひびきの郷)  
ご宿泊基本室料3割引  
(休前日は2割引)





ありがとうございました



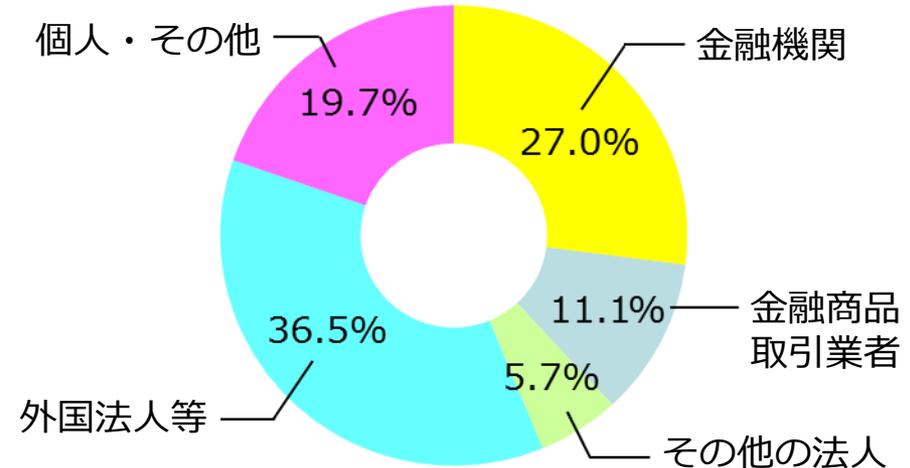
**(参考資料)**



### <投資家情報>

上場証券取引所	東証（一部）、福証
証券コード	9142
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
議決権の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
配当金の基準日	期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
単元株式数	100株
発行可能株式総数	640,000,000株
発行済株式総数	160,000,000株

### <所有者別株式数比率>

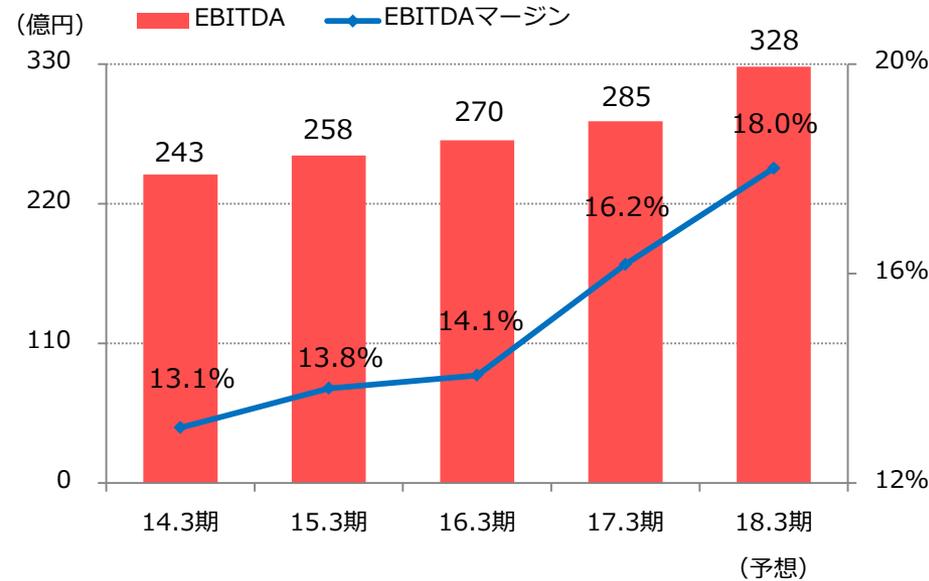


### <大株主の状況>

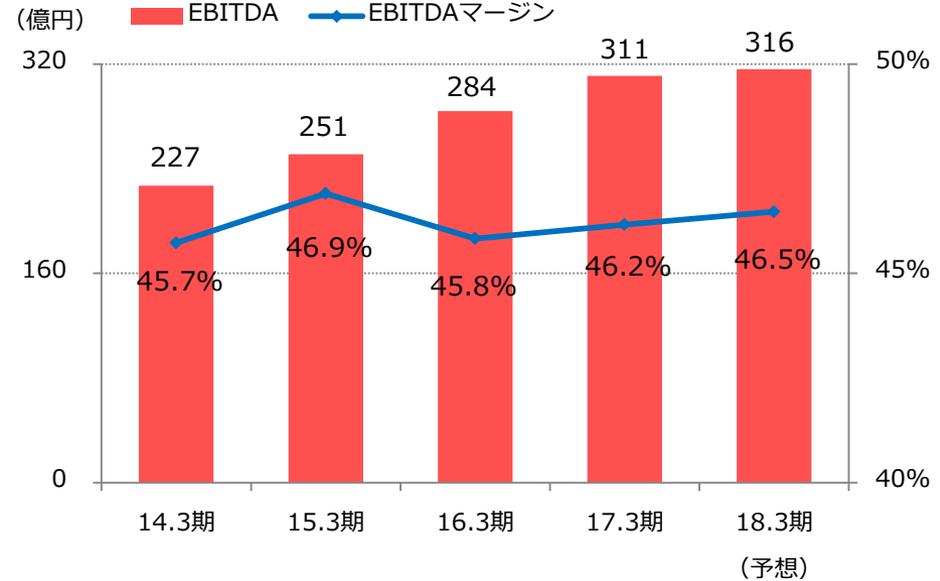
	氏名又は名称	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4.40 %
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.98
3	JPモルガン証券株式会社	2.78
4	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2.47
5	SMBC日興証券株式会社	2.36
6	太陽生命保険株式会社	2.00
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1.94
8	モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	1.86
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1.68
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1.67

# セグメント別のEBITDA推移

＜運輸サービス＞



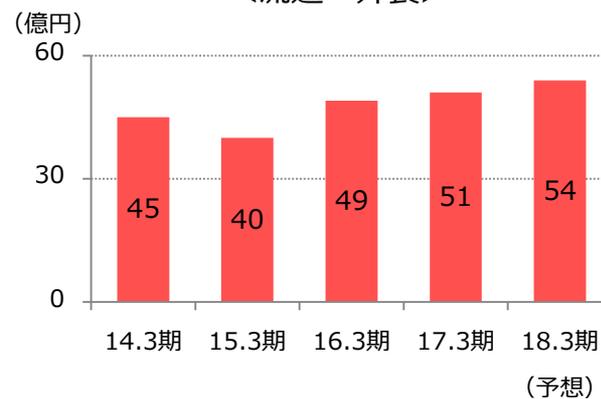
＜駅ビル・不動産＞



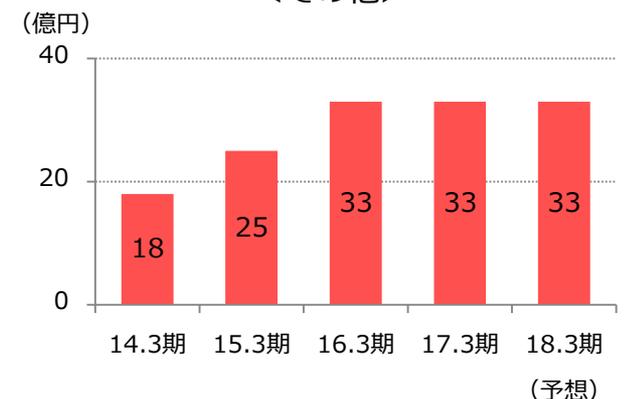
＜建設＞



＜流通・外食＞



＜その他＞



※ 2016.3期以前の運輸サービスセグメントのEBITDAは、経営安定基金運用収益（2014.3期:120億円、2015.3期:125億円、2016.3期:111億円）を含む

※ 各セグメントの数値は、セグメント間取引消去前



# 主要な保有物件の概要

資産タイプ	名称	所在地	時期 (開業/取得)	延床面積/ 戸数/部屋数	テナント売上 2017.3期	主要テナント
商業施設 (駅ビル)	アミュプラザ小倉	北九州市小倉北区	1998.3	約48,500㎡	120億円	ユナイテッドアローズ、 フランフラン 等
	アミュプラザ長崎	長崎市	2000.9	約58,500㎡	208億円	東急ハンズ、無印良品、 ユナイテッド・シネマ 等
	アミュプラザ鹿児島	鹿児島市	2004.9	約65,000㎡	264億円	東急ハンズ、ZARA、 シネマ鹿児島ミッテ10 等
	J R博多シティ	福岡市博多区	2011.3	約240,000㎡	1,061億円	阪急百貨店、東急ハンズ、 T・ジョイ博多 等
	J Rおおいたシティ	大分市	2015.4	約154,000㎡	223億円	東急ハンズ、 TOHOシネマズ 等
商業施設 (マチナカ)	六本松421等	福岡市中央区	2017.9 ※一部10月開業	約37,000㎡	-	蔦屋書店、スターバックス、 九州大学法科大学院、福岡市科学館 S J R六本松 等
オフィス	赤坂山王センタービル	東京都千代田区	2011.3 取得	約5,000㎡	-	-
	二番町センタービル	東京都千代田区	2014.3 取得	約44,000㎡	-	-
	J R J P 博多ビル	福岡市博多区	2016.4 開業	約44,000㎡	-	-
	平河町センタービル	東京都千代田区	2016.9 取得	約8,000㎡	-	-
賃貸 マンション	R J R プレシア郡元	鹿児島市	2016.2	164戸	-	-
	R J R プレシア博多	福岡市博多区	2017.2	218戸	-	-
	他 計30棟					
ホテル	J R九州ホテル ブラッサム博多中央	福岡市博多区	2013.4	247室	-	-
	J R九州ホテル ブラッサム新宿	東京都渋谷区	2014.8	239室	-	-
	他 計15棟					

# 主要な開発パイプラインの概要

名称	所在地	時期	敷地・延床面積/ 戸数/部屋数	備考（用途等）
熊本駅周辺開発	熊本市	2018年春 高架下開業予定 2019年春 駅ビル着工予定 2021年春 駅ビル開業予定	敷地 70,000㎡（全体） 敷地 19,000㎡（駅ビル） 延床 107,000㎡（駅ビル） 商業店舗面積 37,000㎡（駅ビル）	高架下：商業 駅ビル：商業、シネマ、ホテル等 駐車場：2,100台（駅ビル駐車場 800台含む） その他：住居系
長崎駅周辺開発	長崎市	未定 ※2019年度以降 開業予定	敷地 約48,000㎡（高架下含む）	新幹線開業、在来線高架化を見据えた駅周辺開発を推進 商業、ホテル、オフィスなど複合的な開発を検討
南九州開発プロジェクト	-	-	-	-
鹿児島中央駅西口	鹿児島市	未定 ※2019年度以降 開業予定	敷地 約8,500㎡	商業、ホテル、住居など複合的な開発を検討
鹿児島駅周辺	鹿児島市	未定 ※2019年度以降 開業予定	敷地 約14,000㎡	-
宮崎駅西口	宮崎市	未定 ※2019年度以降 開業予定	敷地 約4,000㎡	商業、ホテル、住居など複合的な開発を検討
鹿児島車両センター周辺	鹿児島市	未定 ※2019年度以降 開業予定	敷地 約12,000㎡	-
博多駅前二丁目開発	福岡市博多区	未定	敷地 約1,590㎡	ホテルや店舗、オフィスなどの開発を需要を見極めたうえで検討
福岡市中央区渡辺通り4丁目	福岡市中央区	未定	敷地 約1,772㎡	-
新橋一丁目ホテル計画	東京都港区	2019年秋 開業予定	267室 予定 延床 約10,000㎡	オフィス・ホテル複合開発、N T T都市開発(株)との共同開発 ホテル部分所有：J R九州 ホテル運営：J R九州ホテルズ(株)
帝人(株)大阪本社ビル開発	大阪市中央区	2021年4月末 竣工予定	延床 約47,470㎡	共同住宅（分譲・賃貸マンション）

# 将来の見通しに関する記載について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

# 当社ホームページのご紹介

その他の会社情報につきましては、  
ぜひ当社ホームページをご覧ください。

